



さちが丘小学校 学校だより

# 若竹

1 月 号

令和6年1月12日  
横浜市立さちが丘小学校  
校長 高浜 正太郎  
TEL.361-0777 FAX.361-0787

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sachigaoka/>

## 辰年を迎えて思う事

校長 高浜 正太郎

身の引き締まるような寒さと澄み渡る晴天のもと、新たな年を迎えました。謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、今年も皆様にとって幸多き年でありますよう、心よりお祈りいたします。

穏やかな一年の始まりだと思い過ごしていたところが、夕刻より能登半島において震度6強から震度7にかけての大地震が発生して甚大な被害を与えました。今回の災害によってお亡くなりになられた皆様には謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、被災された地域の一刻も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

時を待つことなく発生する震災の報道に直面して、改めて自然災害の恐ろしさを実感いたしました。それとともに、自然災害に対する日頃の備えを万全に行うことの大切さも再認識しました。昨年12月に本校で実施した地震発生時の避難訓練において、「いつ起こるのかわからない地震に対して、真剣に訓練に取り組むことの大切さ」を子どもたちに話しましたが、今後も引き続き、防災意識をより高めていくことができるように指導してまいります。

さて、2024年のカレンダーを何気なくめくってみると、2月は29日までであり、今年はいうるう年であることに気付きました。パリオリンピック開催の年でもあります。「パリ五輪まであと〇〇日」という表示もいずれ目に入ることが増えていくのでしょうか。また、令和5年度の学校生活は、子どもたちがあと何日登校するのかを数えてみたところ、6年生が47日、1～5年生は52日あることが分かりました。「もう〇〇日しかないのか」「まだ〇〇日もあるのか」子どもたちによってとらえ方は様々でしょう。しかしながら、中学校や次の学年に向けて残された期間なのだから、一日一日を大切に過ごすとともに、進んで学ぶことによって新年度の準備をしっかりとしていこうと、朝会にて子どもたちに話しました。

辰年は、今まで準備してきたことが形となり、「成功する年」「実を結ぶ年」だといわれています。コロナ禍を経て培ってきた新たな生活様式や学校教育活動の見直し・改善など、この3年間学んできたことが生かされて実を結んでいく年であるよう願っています。

今週より令和5年度の締めくくりとしての約3か月間がスタートしました。さち小の子どもたちが「しなやかに 伸びやかに」成長していけるように、家庭・地域の皆様と連携して教育活動を進めてまいります。保護者・地域の皆様におかれましては、昨年同様、本校の教育活動に対し引き続きご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

